

## 新作能「竜宮小僧」公演

静岡文化  
芸術大 住民や学生が堪能



市民らが伝統芸能の世界を味わった新作能「竜宮小僧」＝浜松市中区の静岡文化芸術大

浜松市中区の静岡文化芸術大で10日、北区引佐町に伝わる伝説を題材にした新作の能公演「竜宮小僧」(静岡新聞社・静岡放送後)が行われた。地元住民や学生ら約310人が趣深い伝統芸能の世界を味わった。竜宮小僧は見返りを求めずに村人の田植え

などを手伝い、タデ汁を飲んで死んでしまった後も田んぼの水源地となり地域に恩恵をもたらしたと言い伝えられている。公演作品は、不思議な夢を見た僧侶が竜宮小僧の墓を訪ね、タデ汁を出してしまい後悔する老夫婦の亡者にも会いながら、竜宮小僧を供養する物語。作品を書き下ろし、シテ方も務めた観世流能楽師で同大文化政策学部の梅若猶彦教授らが優美な舞や謡いを披露した。